

ことは6月上旬キスカ島北方海域の北緯53度東経177度付近で捕捉した足の早い白鮭の動きは北東方面に、又34.35年度に於ける北緯58~59度線の白鮭は東方に、共に許可ラインの東限に遮られ、その移動方向を終局的に握み得なかつとは言え、明らかに東方へ動いていた事実及び学者間で言われている白鮭の各地方群のベーリング海での動き等を考え併せると、魚群の移動方向を見究めるのは、仲々至難な事実と思われる。

10. 1964年における米国およびカナダ沖合さけます冬期操業調査計画

猪野 峻 (水産庁)

(1) 背景

北太平洋におけるさけます知見のうち大きく欠けているものの一つは、冬期分布についてである。このことは北太平洋漁業国際委員会の各国によって数年前から認められてきた。然しさけますの冬期生活期についての知見を得るための最初の重要な調査がなされたのは1962年になってからであった。即ちこの年の2月および3月初めに米国は中部太平洋における表層刺網試験を行なった。さけますは操業の南限であるアダック島の南45°Nで獲られ、又155°Wに沿っては46°Nまで漁獲された。

1962年11月にはワシントン州およびブリテッシュ・コロンビア沿岸沖合ほぼ250マイルの46°Nと52°30'Nの間の定点ではさけます(べにさけ)は最も北の定点でのみ獲られた。米国による流網操業は

1963年の1月から3月初めまで中部太平洋および中部ベーリング海で再び行なわれた。この時の結果は前年の知見を裏付けベーリング海の全点でさけます(べにさけ)がいることを示した。1963年の1月には、春に、からふとますが多くいた130°W以東のワシントン州およびオレゴン州沿岸沖合、およびファンデファーカ海峡から55°N、150°Wまでの

アラスカ湾において行なわれたカナダによる表層延縄および流網の試験結果では、 48°N 以北の定点でのみさけますが獲られた。このように限られた観測結果であるが、さけますが冬にも春や夏と同様に広く分布していることが示されている。

中部太平洋ではさけますは冬には春や夏よりもずっと南にいるが東部太平洋では4月にさけますが多くみられる南部水域には冬期には明らかにない。

冬期におけるさけます分布についてのより多くの知見を得るため、米国およびカナダは1964年1月から冬期調査を行なう計画である。現在の知見を考慮に入れると共同の計画をたて、共通の計画に共同して参加する方が両国で別々の計画を行なうより調査範囲も広く、調査の重複を除き、不明の点を埋めるのに役立つと思われた。

共同調査の考えが提案されて以来調査機関の間で計画会議が開かれた。この覚え書きは現在までに仮に定められた計画および決定を要約しており実施すべき調査項目を示している。

(2) 計画案

(i) 目的 北太平洋におけるさけますの冬期分布および生態を調査すること。

(ii) 参加機関

(a) 米国商業漁業局 (シアトル)

(b) 漁業研究所 (シアトル)

(c) カナダ漁業研究局 (ナナイモ)

(iv) 調査区域 180° 以東の東部北太平洋であって、さけますの漁獲によって知られる分布の北限と南限の間の水域。各船の航跡 (米国は

George B. Kelez, カナダは G. B. Reed) の運航計画は附図に示されている。

(イ) 調査期間 1月6日から2月10日まで、各船とも若干早く出航できるかも知れないし、又そのことが勧告されている。

(ロ) 漁獲 標識放流が試験操業の主要な部分をなすので、放流のための良い条件が得られる延縄が主要な漁具となるであろう。カナダおよび米国(漁業研究所)には各々延縄に熟練した人が居り人員の交換は不要である。操業は通常標準漁具として30鉢の延縄を用い明け方行なわれる。状況によりこの鉢数は減らされ、また他の時刻における操業も価値があるかも知れない。時間と天候が許せば米国は刺網と延縄を同時に用いて2つの漁具による漁獲物の比較についての情報を得るであろう。

(ハ) ブランクトン

(a) 夜明け前、約1時間、5~6ノットで20分間 Isaacs-Kidd 網(約6フイート)を用い表層曳網する。

(b) 夜明け前秒速1mの速さで150m層から標準 Nor Pac ブランクトンネットを用いて垂直曳網を行なう。

(c) 各操業点毎にクロロフィル a のサンプルを採集する (Strickland and Parsons, Bull 1125, FRBC による)

米国商業漁業局はカナダ漁業研究局のために(a)および(b)のサンプル採集を行なう。カナダ漁業研究局は米国商業漁業局に必要な資材を提供する。

商業漁業局はクロロフィル a のサンプルを集め人員が利用できれば分析を行なう。さもなければサンプルは漁業研究局で分析されるであろう。

(ト) 海洋学

- (a) 表層水温 (SRT)
- (b) 操業点において12時および20時に270mまでBT投入。
- (c) 操業点における塩分サンプル(0, 5, 20, 50, 75, 100, 125, 175, 200, 250, 300m)

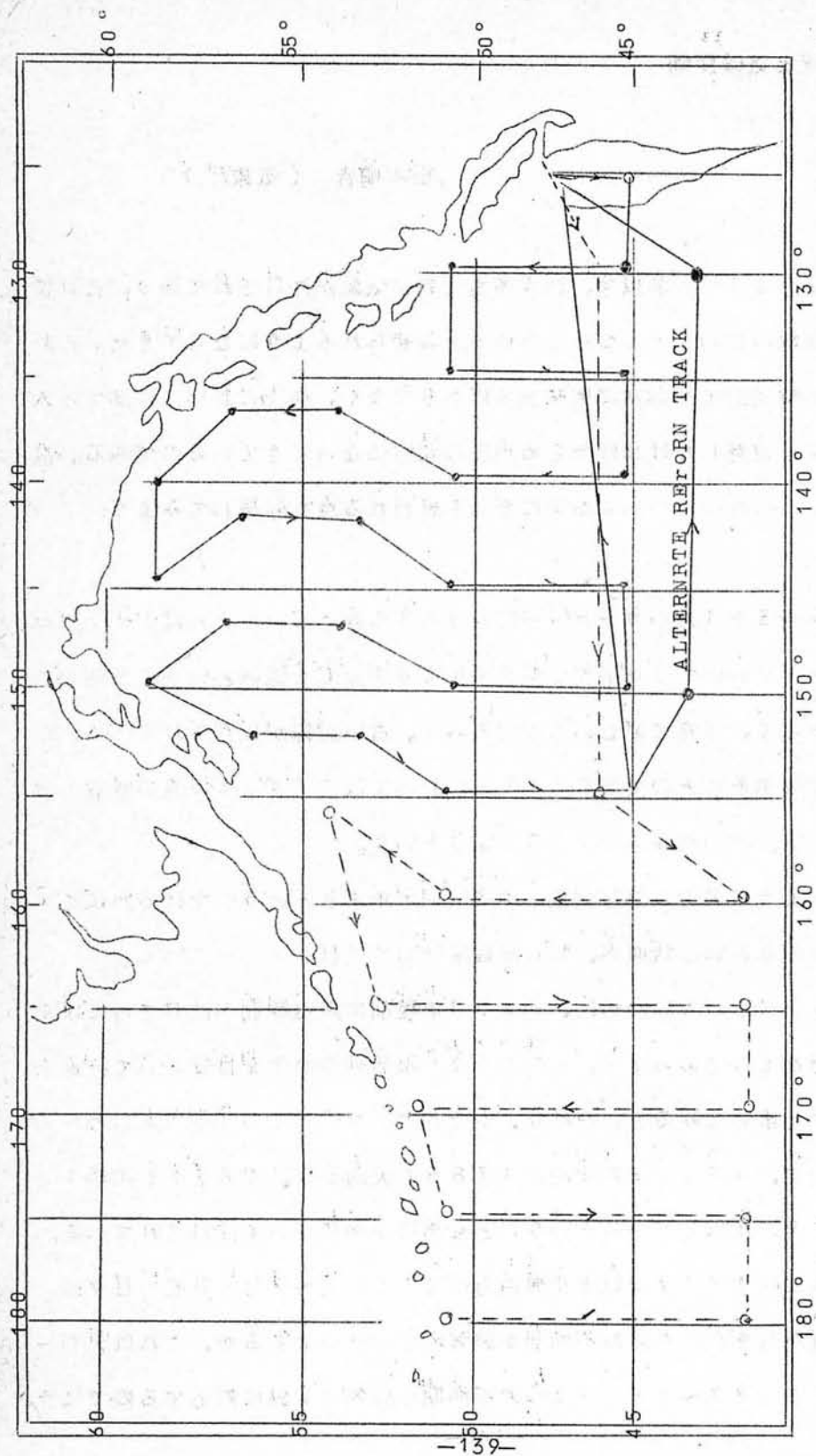
米国漁業局は所要設備が限られており他の調査も行なわれねばならないので(c)項目の調査は実施できないであろう。

(7) 結果の報告

報告結果の取りまとめ方法については明確な決定はなされなかった。集められたデータは参加機関で利用できることが相互に同意された。

(8) 通信連絡

- (a) 船間連絡。沖合で連絡するために各船には同一のラジオクリスタルが備え付けられる。仮りに定められた連絡時刻は21時(太平洋標準時)である。
- (b) 海洋定点「PAPA」経由の船間連絡(a)項の連絡がとれない場合には「PAPA」を経由して船間連絡する可能性が試みられる。
- (c) 船と沿岸の連絡。カナダ漁業研究局は海洋定点「PAPA」を経由して船間の通信連絡の中継を行なう。米国漁業局がGeorge B. Kelley とシアトルの間の通信連絡のため同じチャンネルを使い可能性が調査される。
- (d) 機関と機関との連絡。各機関が受け取る漁獲に関する連絡は1週間毎に他の参加機関に伝達される。この連絡は月日、操業位置、魚種別漁獲量、さけます放流総尾数、漁具の種類および数量を含むものとする。



Proposed cruise tracks for C. B. Kalez (U. S. o-----o) and G. B. Reed (Canada, o-----o) January-February, 1964,